

事例名			
藤原道長に関する風刺画を作成			
校種・学年	高等学校・2年		
教科・科目・単元・題材	地理歴史科・日本史探究・摂関政治		
学校名〈任意〉	京都府立洛西高等学校	事例報告者氏名〈任意〉	大道 小百合
機能名（アプリ名）	・Microsoft Copilot ・ロイロノート		
ICT 活用のポイント			
<p>・風刺画を作成する際に、Copilot を活用した。AI でイラストを出力したことのない生徒も多いであろうことを見越して、あらかじめ Copilot に打ち込む文章を作成し、そこに生徒の考えるシチュエーション等を加えると、ある程度生徒の意向に沿ったイラストが出力されるようにした。</p> <p>・風刺画をロイロノートのカードでまとめて提出し、クラスで2人組になって順番に発表させた。最後に提出物を全体公開して、それぞれの生徒の成果物を見られるようにした。</p>			
活用場面			
<p>①風刺画づくりのワークシートを提示し、風刺画の作り方を説明する。</p> <p>②Copilot で風刺画を作成する。右のような打ち込み文章を提示した。生徒は（ ）の中を自由に入力し、Copilot に打ち込むと、ある程度生徒の考えに沿った風刺画が現れる。</p> <p>③風刺画のタイトル・注目ポイント・何を批判・風刺しているのかをロイロノートのカードでまとめて提出させた。</p> <p>④クラスのそれぞれ横の生徒で2人組になり、風刺画を相手に見せながら、相手に説明する時間をつくった。片方の生徒が前後に移動して、1人あたり4~5人と成果物を共有した。</p> <p>⑤提出箱の中身を全体に共有して、④で話せていない他の生徒の成果物を一目で分かるようにした。</p>		<p>次のテーマに沿って風刺画をつくってください。今回の風刺画のテーマは「藤原道長の権力とその誇示」です。 道長が、（ ここには風刺画として表したい動作などを入力する ）風刺画をつくってください。（ 以下、風刺画出力に必要な細かい設定を指示していく ） 風刺画にはセリフをいれてください。（ 誰が、どんな発言をしているかを入力する ）</p>	
			
授業者のコメント・児童生徒の主な反応等			
<p>この学年は、1年生の時に「歴史総合」を履修しているため、風刺画に関する知識・理解はある程度達成されているので、風刺画作成がスムーズだった。</p> <p>あらかじめ Copilot に打ち込む文章を用意したが、実際は文章に沿って出力を試みる生徒と、AI と自由に会話を繰り返してイラストを作成している生徒で分かれた。後者の生徒はある程度 AI に慣れていると考えられる。</p> <p>風刺画のテーマだけ統一して、作成するときの座席や、どのような表現にするか等は自由にした。生徒は話し合いながら楽しそうに風刺画を作成していたが、用意した打ち込み文章でも二つとして全く同じ風刺画が現れず、発表の際風刺画に関する雑談も含め、興味深そうに生徒は皆の風刺画に触れていた。</p> <p>今回の AI を用いた学習は、学習が得意な生徒も、学習に課題のある生徒も、一様に一定の学びは得られたのではないかと考える、学習が得意な生徒は学びと思考力を生かし、自由な発想を風刺画に落とし込んでいた。学習に課題のある生徒も、ある一定の水準までは AI が導いてくれるので、その AI についていく形で興味をもって学習に取り組んでいた。</p>			

授業でAIを使用するためには、人権上の観点からも、AIの利点やリスクを教員が十分に踏まえたうえで、学習活動の中で生徒に周知し続けていく必要性を感じた。